

科目名	ロジカルシンキング							年度	2025
英語科目名	Logical Thinking							学期	前期
学科・学年	情報ビジネス科 1年次	必／選	選	時間数	30	単位数	1	種別※	講義
担当教員	風間 恵		教員の実務経験		有	実務経験の職種		企業研修講師	
【科目の目的】 この科目の目的は、学生が様々な手法を用いて有益な情報を収集し、実業務に役立てる方法を学び、分析結果から改善や提案を行う能力を身につけることです。また、グループワークを通じて他者の考え方を尊重しながら協力するスキルを養うことも目指します。									
【科目の概要】 この科目では、ロジカルシンキングの基本的なアプローチと手法を学びます。情報収集の方法やデータ分析の手法を通じて、実業務において有益な情報を見つけ出し、その情報を元に問題を特定し、改善や提案のアイデアを導き出します。さらに、グループワークを通じて、他者と協力しながら論理的な意見を交換し、効果的な結論を導く方法を学びます。									
【到達目標】 ロジカルシンキングの理解と適用 情報収集と分析能力 解決策の提案と説明力 グループワークと協力能力 論理的なコミュニケーションと発表スキル									
【授業の注意点】 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。 理由のない遅刻や欠席は認めない。 また、授業時数の4分の3以上出席しない者は試験を受験することができない。 授業の進捗状況により、内容が前後する場合がある。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	ロジカルシンキングの概念と手法を深く理解し、複雑な問題を論理的に分析し、解決策を提案できる	ロジカルシンキングの概念と手法を理解し、基本的な問題を論理的に分析し、解決策を提案できる	ロジカルシンキングの基本的な概念と手法を理解し、単純な問題を論理的に分析し、解決策を提案できる	ロジカルシンキングの一部の概念や手法を理解し、問題分析や提案が限定的である	ロジカルシンキングの概念や手法を理解できておらず、問題分析や提案が困難である				
到達目標 B	複数の情報源から効果的に情報を収集し、適切なデータ分析を行い、問題の核心を突き止められる能力を持つ	複数の情報源から基本的に情報を収集し、適切なデータ分析を行い、問題の要因を理解できる能力を持つ	情報源から情報を収集し、単純なデータ分析を行い、問題の一部の要因を理解できる能力を持つ	情報収集やデータ分析が限定的であり、問題の要因の特定が難しい	情報収集やデータ分析が不十分であり、問題の要因の特定が困難である				
到達目標 C	論理的なアプローチを用いて適切な解決策を提案し、効果的に説明できる能力を持つ	論理的なアプローチを用いて基本的な解決策を提案し、適切に説明できる能力を持つ	論理的なアプローチを用いて一部の解決策を提案し、説明できる能力を持つ	解決策の提案や説明が限定的であり、説得力に欠ける	解決策の提案や説明が不十分であり、説得力がない				
到達目標 D	グループ内で主導的な役割を果たし、メンバーと協力して問題を解決できる能力を持つ	グループ内で積極的に協力し、メンバーと協力して問題を解決できる能力を持つ	グループ内で一部協力し、メンバーと協力して問題を解決できる能力を持つ	グループ内で協力が限定的であり、問題解決においてメンバーとの連携が難しい	グループワークや協力が不十分であり、問題解決や連携が困難である				
到達目標 E	複雑な情報を論理的に整理し、わかりやすく説明するコミュニケーションスキルを持ち、効果的なプレゼンが可能	基本的な情報を論理的に整理し、わかりやすく説明するコミュニケーションスキルを持ち、適切なプレゼンが可能	一部情報を論理的に整理し、説明するコミュニケーションスキルを持ち、プレゼンが可能	コミュニケーションやプレゼンの論理性が限定的であり、説得力に欠ける	コミュニケーションやプレゼンの論理性が不十分であり、論理性や説得力がない				
【教科書】									
【参考資料】 毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。									
【成績の評価方法・評価基準】 試験・課題 90% 試験と課題を総合的に評価する 平常点 10% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		プログラミング基礎				年度	2025
英語表記						学期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ロジカルシンキングの基本概念と重要性	ロジカルシンキングの基本的な概念とその重要性を理解する	1	ロジカルシンキングの定義	ロジカルに考えるための基本的なアプローチを学ぶ	3	
			2	思考プロセス			
			3	ビジネスへの適用			
2	問題解決のフレームワーク	問題解決のための基本的なフレームワークを学び、課題の整理と分析能力を向上させる	1	問題の特定	問題解決のためのステップバイステップのアプローチを学ぶ	3	
			2	情報収集、要因分析			
			3	解決策の提案			
3	データの分析と意思決定	データを分析し、合理的な意思決定を行うための方法を学ぶ	1	データ収集と整理	データから有益情報を抽出し意思決定をサポートする能力を向上させる	3	
			2	統計的手法の基本			
			3	意思決定への適用			
4	論理的な議論と説明	論理的な議論と説明を行うためのスキルを磨く	1	論理的な思考の構築	アイデアを論理的に提示し説得力のある議論を展開する方法を学ぶ	3	
			2	説得力のあるプレゼンテーション			
			3				
5	アナリティカルシンキングとクリティカルシンキングの比較	アナリティカルシンキングとクリティカルシンキングの違いを理解し、両方のアプローチを活用する	1	アナリティカルシンキングとクリティカルシンギ	問題解決におけるアナリティカルとクリティカルなアプローチの選択方法を学ぶ	3	
			2				
			3				
6	グループワークとチームのロジカルシンキング	グループ内でのロジカルシンキングとコラボレーションスキルを強化する	1	グループディスカッションのファシリテーション	チーム内でのロジカルシンキングとアイデアの共有方法を学ぶ	3	
			2	アイデアの共有と統合			
			3				
7	データの可視化と説明	データを効果的に可視化し、他者にわかりやすく説明するスキルを向上させる	1	データ可視化ツールの利用	データを視覚的に表現し説明するスキルを磨く方法を学ぶ	3	
			2	インフォグラフィックの作成			
			3	データの解釈			
8	ロジカルシンキングとクリエイティビティの融合	ロジカルシンキングとクリエイティビティのバランスを取りながら問題にアプローチする方法を学ぶ	1	クリエイティブなアイデアの発想	問題解決におけるクリエイティビティとロジカルな思考の組み合わせ方を学ぶ	3	
			2	ロジカルな展開			
			3				
9	プレゼンテーションと説明力の向上	ロジカルにアイデアをプレゼンテーションし、他者に理解させる能力を向上させる	1	プレゼンテーションの構造	プレゼンテーションスキルをロジカルに向上させる方法を学ぶ	3	
			2	ロジカルな説明の展開			
			3				
10	データの分析とパターン認識	データからパターンを見つけ出し、洞察を得る方法を学ぶ	1	パターン認識の方法	データの分析とパターン認識のスキルを向上させる方法を学ぶ	3	
			2	データからの洞察抽出			
			3				
11	ロジカルシンキングの実践例とケーススタディ	ロジカルシンキングを実際のビジネスケースに適用し、洞察を得る	1	実際のビジネスケースの分析	ロジカルシンキングの実践的なアプローチとケーススタディの解析方法を学ぶ	3	
			2	成功例と失敗例の比較			
			3				
12	ロジカルシンキングの評価と改善	ロジカルシンキングのスキルを評価し、改善の方法を見つける	1	問題解決プロセスの評価	ロジカルシンキングスキルの評価と効果的な改善方法を学ぶ	3	
			2	改善案の提案			
			3				
13	ロジカルシンキングとコミュニケーション	ロジカルなコミュニケーションスキルを向上させ、他者との相互理解を促進する	1	ロジカルな説明の効果的なコミュニケーション	ロジカルシンキングとコミュニケーションの融合方法を学ぶ	3	
			2	聴くスキルの向上			
			3				
14	クリエイティブなロジカルシンキングとイノベーション	クリエイティブな要素を取り入れながらもロジカルな思考を維持し、イノベーションを推進する	1	クリエイティブなアイデアとロジカルな実装	クリエイティブなアイデアをロジカルに展開しイノベーションのスキルを向上させる方法を学ぶ	3	
			2	イノベーションプロセス			
			3				
15	ロジカルシンキングの総括と将来への展望	ロジカルシンキングの習得を振り返り、将来のビジネス活動に活かす方法を考える	1	ロジカルシンキングのアプローチと将来の適用例	ロジカルシンキングの習得を総括し将来の成功に向けて展望を持つ方法を学ぶ	3	
			2				
			3				

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等